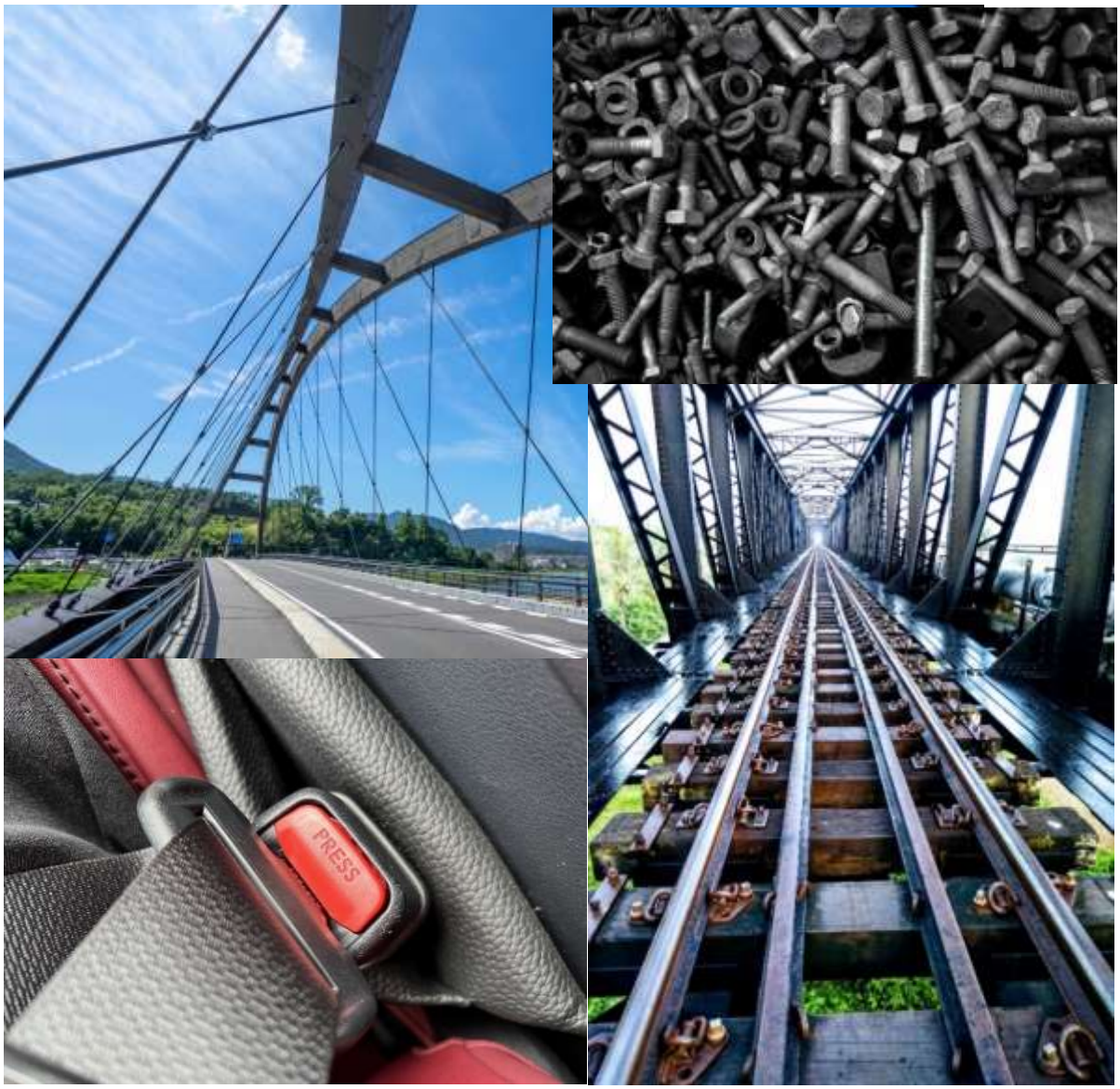
バリアフレーク TE シリーズ



東西化学株式会社

バリアフレーク TE-901 シリーズ

焼 付 タ イ プ

＜特徴＞

バリアフレーク TE-901 は非常に高い耐食性と耐薬品性を併せ持つ防食塗料です。
単体でも優れた性能を持ち合わせていますが、ステンレスフレークを併用することで、塗膜硬度や耐色性を付与することが出来ます。さらにルブドライ(*1)の技術を組み合わせることで、潤滑性を付与でき、既定のトルク係数へ調整することも可能です。

試験項目	結果	備考
碁盤目試験	100/100	セロテープ
鉛筆硬度	3～4H	ノンフレークタイプ
	6～7H	フレーク含有タイプ
トルク係数	0.11～0.15	ﾎﾞﾙﾄ軸力 25、35、45%の締め付けﾄﾙｸ JIS B 1084
塩水噴霧試験	1000時間	ノンフレーク1コート仕様
	3000時間	フレーク含有2コート仕様
10wt%硫酸水浸漬試験	2000時間	ノンフレーク1コート仕様
	3000時間以上	フレーク含有2コート仕様
20wt%水酸化ナトリウム水浸漬試験	2000時間	ノンフレーク1コート仕様
	4000時間以上	フレーク含有2コート仕様
亜硫酸ガス試験	30サイクル	2ℓ・H_2O+2ℓ・SO_2 40℃ X100R11% DIN 50018に基づく

<用途>

・オイルやグリースなどと併用される機械部品など

・耐薬品性が求められる部品や容器等

・ネジやボルトなどのファスナー類での使用の場合は、下地処理に亜鉛皮膜（溶融亜鉛や亜鉛メッキ、亜鉛アルミ複合被膜）をご使用下さい。

(*)当データはすべて弊社専用プライマーを併用した仕様です。仕様が異なる場合はこれらのデータも異なりますのでご注意下さい。また、これら試験データはすべて弊社で行っており、品質を保証するものでは御座いません。
(*1)弊社、固体潤滑塗料の品名。

＜仕様＞

・1 コート 1 ベーク（ノンフレークタイプ）
・2 コート 2 ベーク（専用プライマー＋TE-901(SUS)）

＜実績＞

・建材・土木関係のボルト、ナット等　・自動車部品　・産業機械部品

＜適用素材＞

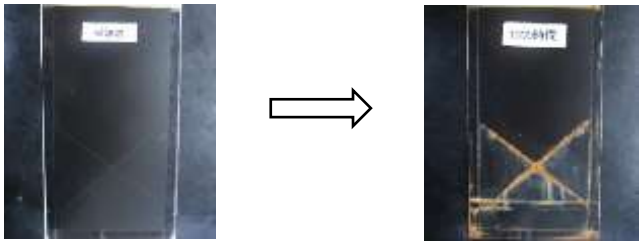
・鉄　・アルミ　・ステンレスなど
その他の素材についてはメーカーに問い合わせ下さい。

＜塩水噴霧試験-フレーク含有 2 コート品->

試験前　　3000 時間　　試験前　　3000 時間

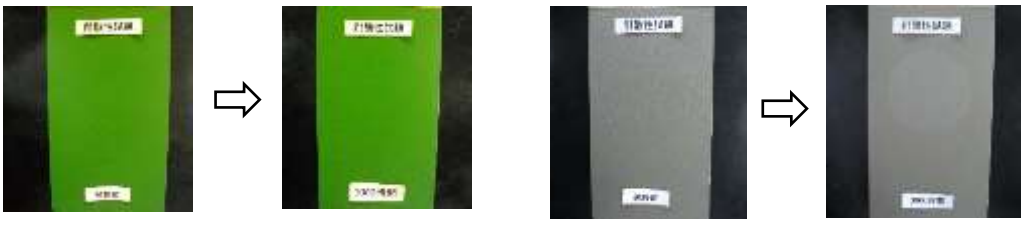
＜塩水噴霧試験-ノンフレーク 1 コート品->

試験前　　1000 時間



＜耐酸性試験-1 コート仕様（グリーン）及び 2 コート仕様（SUS）->

試験前　　1000 時間　　試験前　　3000 時間



＜耐アルカリ性試験-2 コート仕様->

試験前　　1000 時間　　試験前　　3000 時間

バリアフレーク TE-930(SUS)シリーズ

常 温 乾 燥 タ イ プ

＜特徴＞

バリアフレーク TE-930（SUS）は常温乾燥タイプになり、大物や焼付が困難な案件に使用することを推奨いたします。

＜従来塗料との比較データ＞

鉛筆硬度試験

＜アクリル樹脂塗料＞　2～3 H
＜バリアフレーク TE-930＞　5 H以上
＜コメント＞バリアフレーク TE-930 は同系の樹脂を使用しても塗膜硬度が上がり、傷がつきにくくなっています。

耐チッピング試験

バリアフレーク TE-930　一般エポキシ塗料

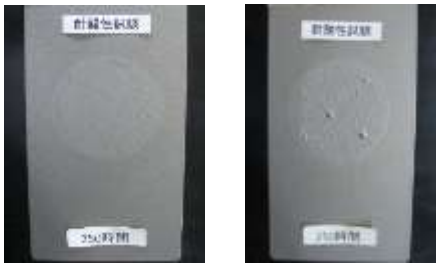
＜テスト＞ブラスト処理を行った後に塩水噴霧試験 250 時間行い腐食の程度の確認
＜コメント＞一般エポキシ塗料はブラスト処理が素地まで達し、錆が発生しているが、バリアフレーク TE-930 はステンレスフレークで傷を防いでいます。
（協力会社提供資料より）

他社類似品との耐食性比較データ

塩水噴霧試験 1,000 時間

バリアフレーク TE-930　他社類似製品

10wt%硫酸浸漬 250 時間



バリアフレーク TE-930　他社類似製品

＜性能表＞

試験項目	バリアフレーク TE-930(SUS)	他社類似品
碁盤目試験　100/100	○	○～△
鉛筆硬度	3～4H	3～4H
衝撃試験（デュポン式）	500ｇ×50ｃｍ　○	500ｇ×50ｃｍ　×
90 度折り曲げ	○	△
耐溶剤性	○	○
塩水噴霧試験	○	○～△
耐酸性	○	×
耐アルカリ性	○	○

（注）これら試験はすべて弊社で行ったものであり、これらの結果を保証するものでありません。実際の御使用には十分な予備試験を行ってください。これら試験はすべてリン酸亜鉛処理鋼板を用いています。